

江戸崎地方衛生土木組合  
視察研修報告

視察日

平成 26 年 6 月 30 日  
7 月 2 日

視察先

- ・ 福岡県福岡市
- ・ クリーンパーク臨海
- ・ 佐賀県佐賀市
- ・ 佐賀市清掃工場

視察目的

組合では施設整備検討委員会を組織し、施設整備基本計画を策定。本年度から施設整備に関するさまざまな計画支援業務に着手する。ついでには、焼却炉形式や熱利用のあり方、施設内動線等に視点を置いて研鑽するもの。

参加者

沼崎光芳 椎名利夫

視察内容

福岡市は、昭和 47 年に政令指定都市となった人口 150 万人を有する九州の中



福岡市クリーンパーク臨海にて

核都市である。クリーンパーク臨海は、敷地面積が 97,700 平方メートル、日量 900 トンの処理能力を有する清掃工場である。焼却炉は組合で計画しているストーカ炉と同様のもので、技術的にも費用的にも問題がなく、稼働実績も多く、安定した熱処理方式であるので、この炉形式を採用した。

また、ごみ焼却エネルギーの有効利用を推進するため、廃棄物発電に取り組

み、最大 25,000 キロワットの発電を行っている。ごみからつくられる電力は施設内で使用するほか、電力会社にも送電し、売電収入がある。

佐賀市は、平成 17 年 10 月に 1 市 4 町村が合併して誕生した 20 万都市である。佐賀市清掃工場は、ごみ処理に加え、発電、余熱利用が可能な焼却施設で、敷地面積は 50,600 平方メートル、処理能力は日量 300

トンのストーカ炉、出力 4,500 キロワットの発電機と高温水発生器を備えた施設である。また、金属類や紙類を再資源化するリサイクル工場やエコプラザなどをあわせ持った施設である。

熱利用システムでは、蒸気タービン発電機で発電を行い施設内での有効利用と、余剰電力は電力会社に売却をしている。このほかに、蒸気は施設外に建設した佐賀市健康運動センターの温水プールなどに利用してい

る。新しい取り組みとして、ごみ焼却で排出する二酸化炭素を藻類培養企業に販売する協定を結び、CO<sub>2</sub>削減で地球温暖化防止の役割も果たしていた。

今回の視察の目的の一つである施設内の動線については、いずれの施設も案内表示や路面表示が整っており、車両の流れはスムーズであった。

今回の研修は非常に有意義なものであり、今後の実施計画の参考になるものであった。



佐賀市清掃工場のリサイクル工場